

Fusyo Collaboration letter



6月 28日 No.13 文責 廣田 秀俊

授業公開 総合的な学習の時間 3年生の教室から

紙づくりを体験した3年生。改めて教室で自分たちが行った方法や手順を確認していきました。牛乳パックや新聞紙などを持ち込み、その材料をドロドロにして、それを枠に入れてかためて完成させること。次の紙づくりの際に、今回の課題を見直すことが必要と考え、どうしたらいいのかを考えていきます。



めあては「紙づくりの成果と課題を出し合い、どうすればよい紙が作れるか考えよう」です。それぞれのノートを確認めながら、前回の事柄についてみんなで意見を交換し合いました。

まずはよかった点をあげていきました。実際に作った紙の映像を見て確認していきます。

- ・うまく形が作れた
- ・しっかり乾かすことができた
- ・字を書けそうな紙に仕上がった
- ・液体を足したらつやつやになった
- ・牛乳パックは白く作ることができた
- ・順番通りできた
- ・紙であったら何でもできそう 等



課題も挙げていきました。こちらにも経験したことを一人一人が具体的に述べていきます。

- ・ちぎりすぎた
- ・変な色になった
- ・新聞紙の文字が入ってしまう
- ・形を整えられなかった
- ・すき間が空いていた
- ・分厚い紙になった
- ・砂や草が入ってしまった 等



たくさんの意見が出てきました。そこで、手順に沿って解決策を探っていくことにしました。大きく4つに分類し、その事柄について再構築していきます。まずは個人の考えを付箋に書き出しました。そしてその考えをもとにしてグループでも話し合っていました。4分類は次の通りです。①材料をドロドロにするまで ②枠に入れるとき ③かわかすとき ④ 材料。

「水の量はどうか?」「かわかし方を調べてみる?」「白くするには材料を変えるべき?」グループで出てきたことを次の時間に確かめてみることにしました。

「もっといろいろなことを勉強したい」「みんなそれぞれの課題や解決方法をもっている。みんなの意見を取り入れたい」「材料を変えてやってみたい」「作り方を変えてみたい」など、振り返りの言葉が次々と出てきました。さらに探究していく時間になっていきそうです。

